

# Edit All Layer In Folder

Ver.1.00

取扱説明書

動作環境

AutoCAD R(レギュラー) 版

使用ツール

AutoLISP・ActiveX・DCL

## 目 次

1. 本アプリケーションについて.....	4
複数の AutoCAD ファイルの画層情報を一括編集する .....	4
2. アプリケーションをロードする .....	4
LISP ファイルを呼び出す .....	4
3. アプリケーションを操作する.....	6
編集するフォルダ名を入力する .....	6
画層名の入力.....	7
表示の ON / OFF .....	8
フリーズの ON / OFF .....	9
ロックの ON / 解除 .....	10
印刷の可 / 不可 .....	11
画層の色 .....	12
線種の選択 .....	14
線の太さ .....	15
画層に属するオブジェクトを ByLayer にする .....	16
LTSCALE（グローバル線種尺度）の統一 .....	18
全図面を PURGE .....	18

完了 .....	19
4. アプリケーションの操作例 .....	20
フォルダ内の AutoCAD 図面ファイルすべてを一括編集する。 .....	20
5. 作者について .....	29

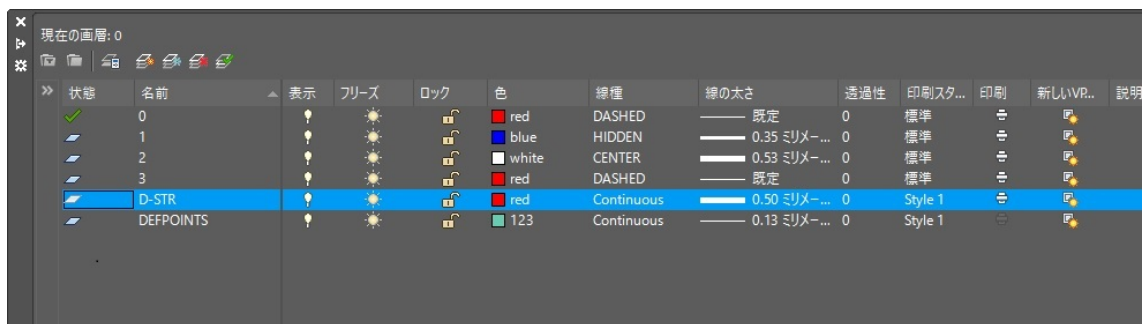
---

## 1. 本アプリケーションについて

複数の AutoCAD ファイルの画層情報を一括編集する

Edit All Layer In Folder は、同一フォルダ内にある全ての DWG ファイルを順番に開いて、画層情報の編集を行い画層の状態を統一させた後、上書き保存をしてファイルを閉じます。

1 回のアプリ実行で 3 つのレイヤを同時に一括編集することができます。

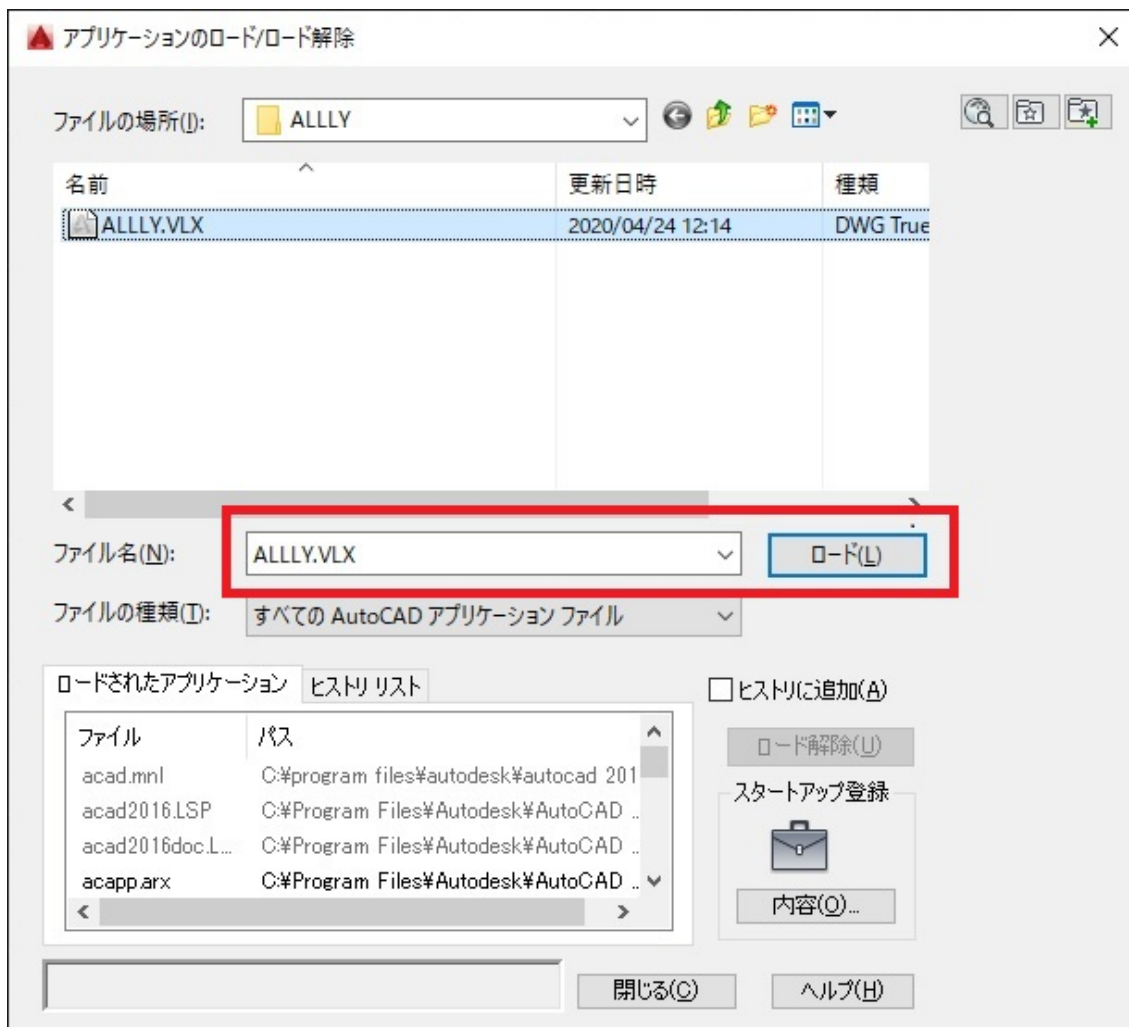


※本アプリケーションは同一フォルダ内にある全ての DWG ファイルを編集します。編集したくないファイルがある場合は、フォルダ外に移動させるか、バックアップを取ってください。

## 2. アプリケーションをロードする

LISP ファイルを呼び出す

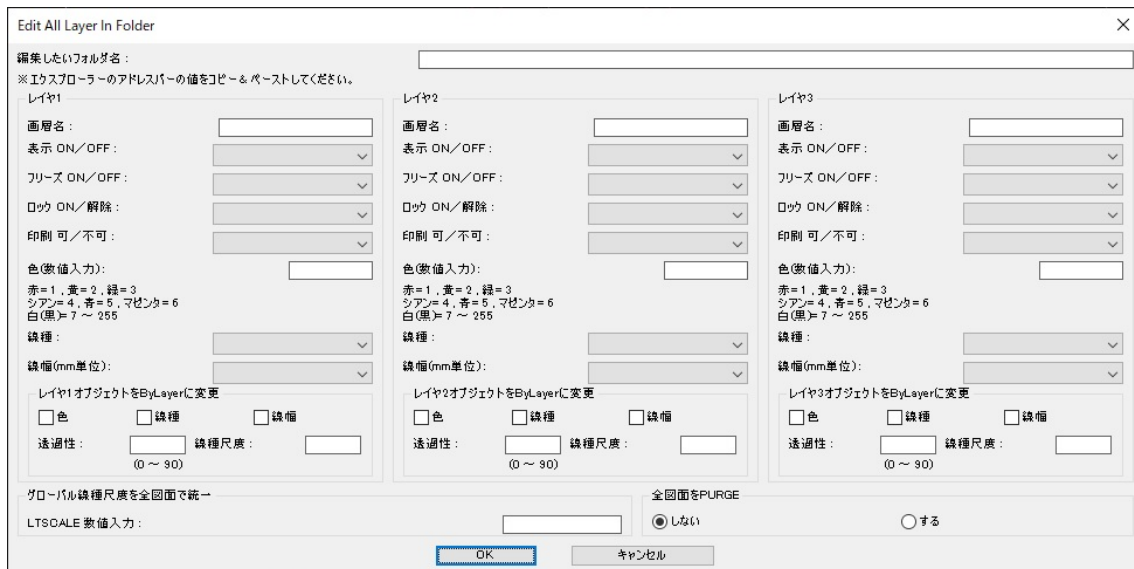
AutoCAD の「管理」タブにある「アプリケーションのロード」をクリックします。



ZIP ファイルを解凍したフォルダ内にある「ALLLY.VLX」という名前のファイルをロー

ドしてダイアログボックスを閉じます。

AutoCAD のコマンドラインに「ALLLY」と入力して Enter キーを押します。



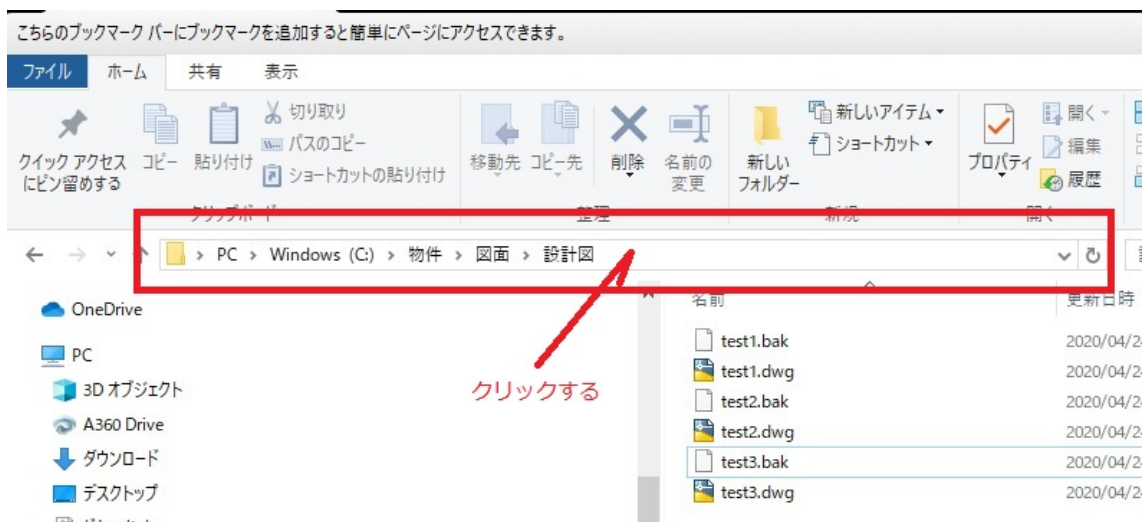
本アプリケーションが表示されます。

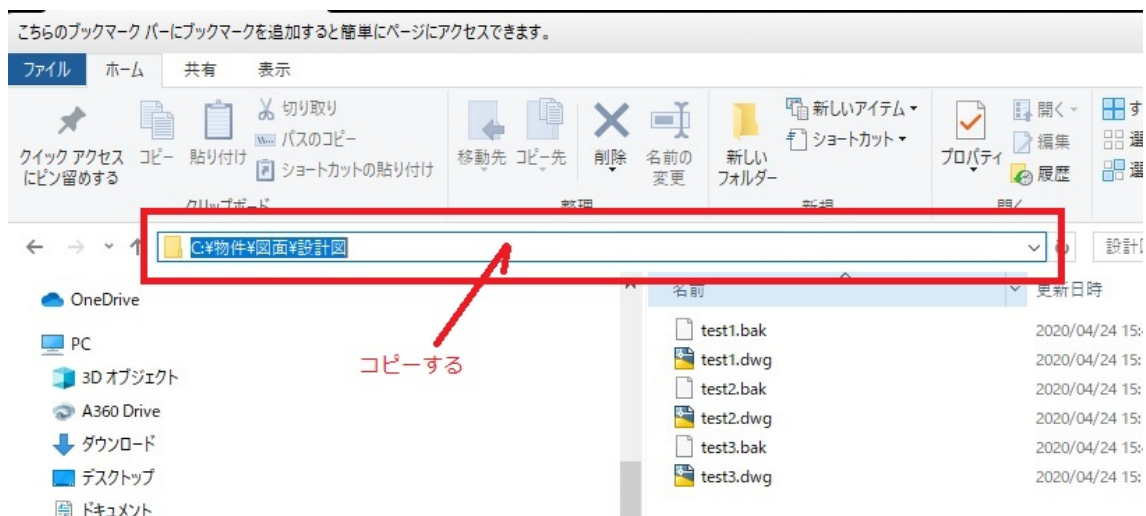
### 3. アプリケーションを操作する

編集するフォルダ名を入力する

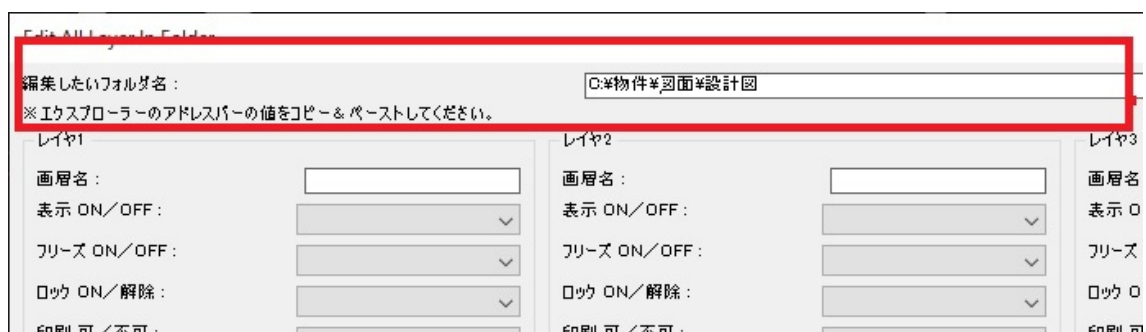
Windows のエクスプローラーで編集したいフォルダを開きます。

アドレスバー表示されているフォルダアドレスを選択し、文字をコピーします。



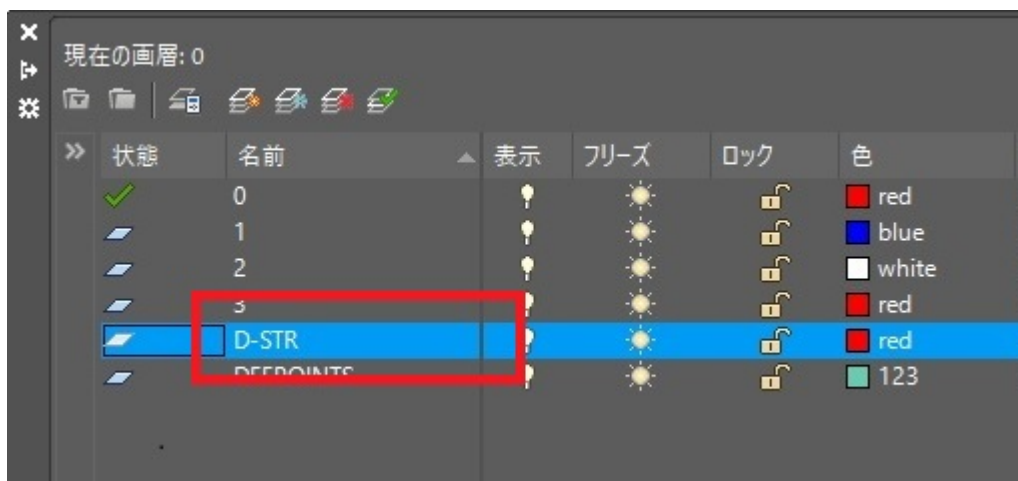


コピーしたフォルダ名を Edit All Layer In Folder のフォルダ欄に貼り付けます。



## 画層名の入力

編集するオブジェクトのレイヤ名を入力します。



「画層名」のテキストボックスに編集したい画層の名前を入力します。



## 表示の ON / OFF

編集するのレイヤの表示 ON / OFF を決定します。

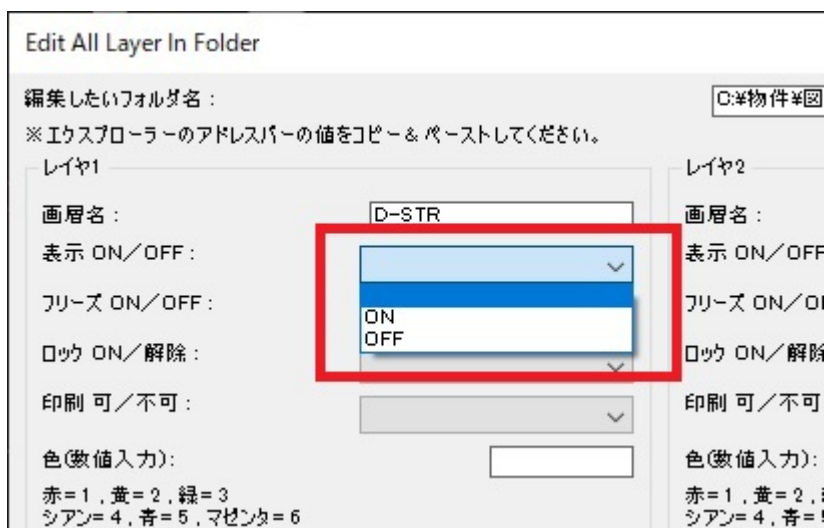




「表示」のプルダウンを操作して ON / OFF を決定します。

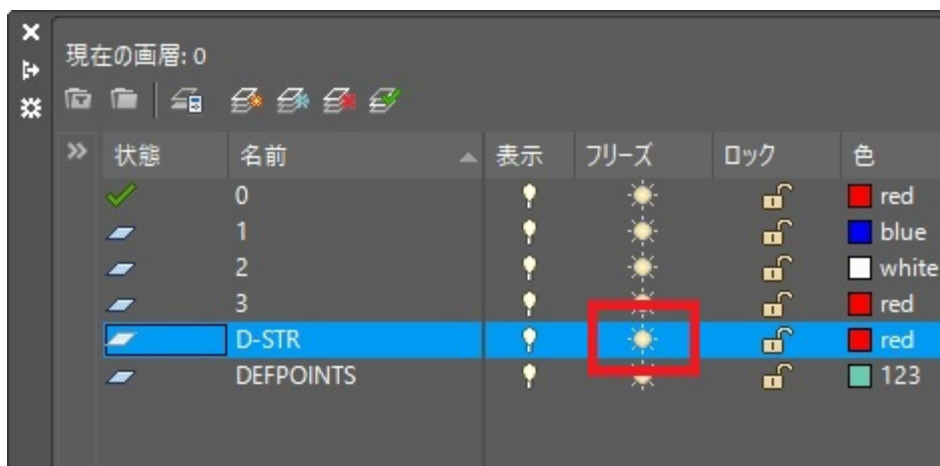
このときプルダウンを操作せずに空欄のままにしておくと、現在の状態が維持されます。

現在の状態を変えたくない場合は、操作をパスするか空欄にして次に進みます。



## フリーズの ON / OFF

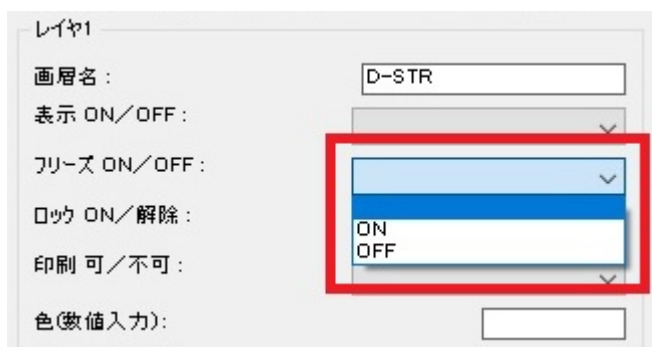
編集するレイヤのフリーズ ON / OFF を決定します。



「フリーズ」のプルダウンを操作して ON / OFF を決定します。

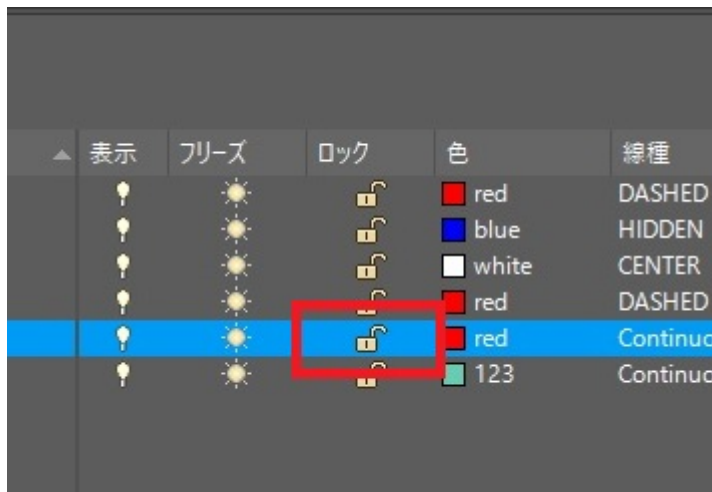
このときプルダウンを操作せずに空欄のままにしておくと、現在の状態が維持されます。

現在の状態を変えたくない場合は、操作をパスするか空欄にして次に進みます。



## ロックの ON / 解除

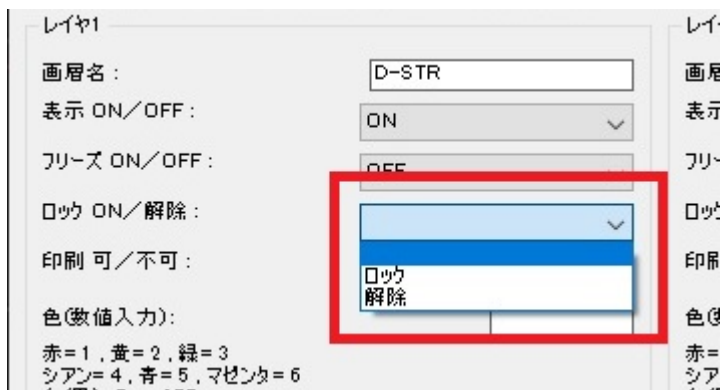
編集するのレイヤのロック ON / 解除を決定します。



「ロック」のプルダウンを操作して ON / 解除を決定します。

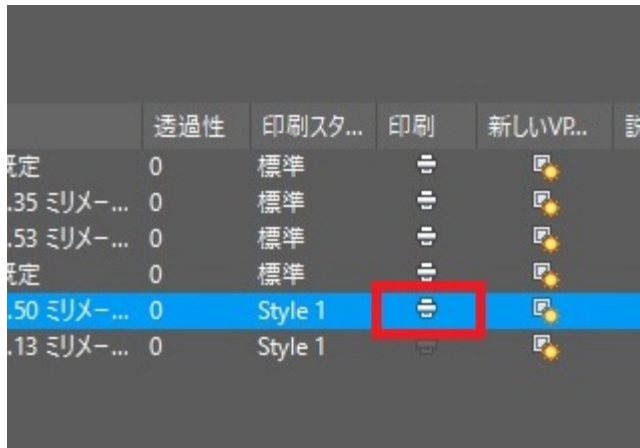
このときプルダウンを操作せずに空欄のままにしておくと、現在の状態が維持されます。

現在の状態を変えたくない場合は、操作をパスするか空欄にして次に進みます。



印刷の可 / 不可

編集するレイヤの印刷可 / 不可を決定します。



「印刷」のプルダウンを操作して可 / 不可を決定します。

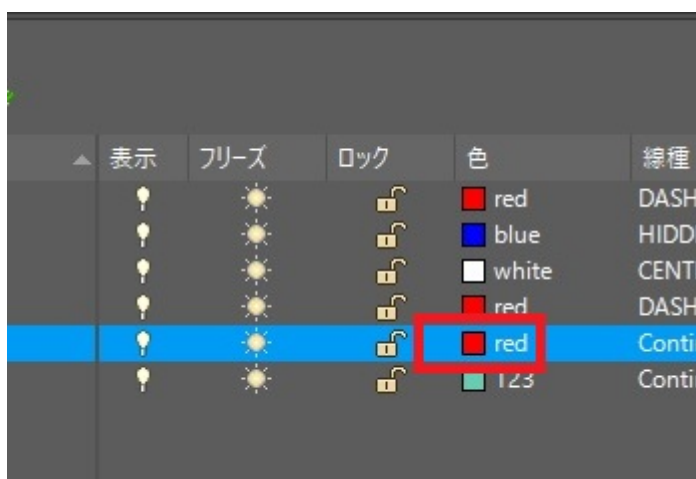
このときプルダウンを操作せずに空欄のままにしておくと、現在の状態が維持されます。

現在の状態を変えたくない場合は、操作をパスするか空欄にして次に進みます。



## 画層の色

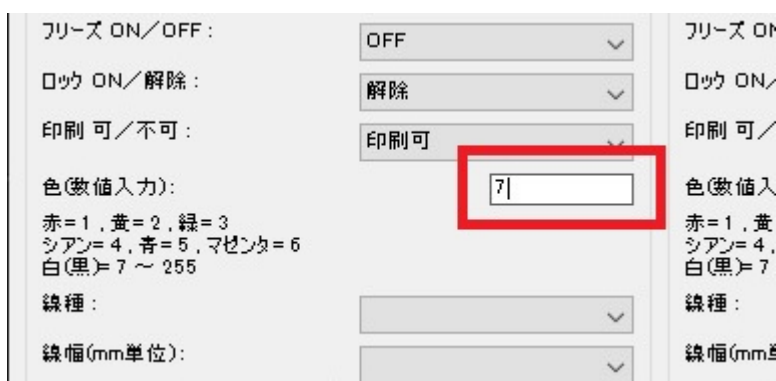
編集するのレイヤの画層の色を決定します。



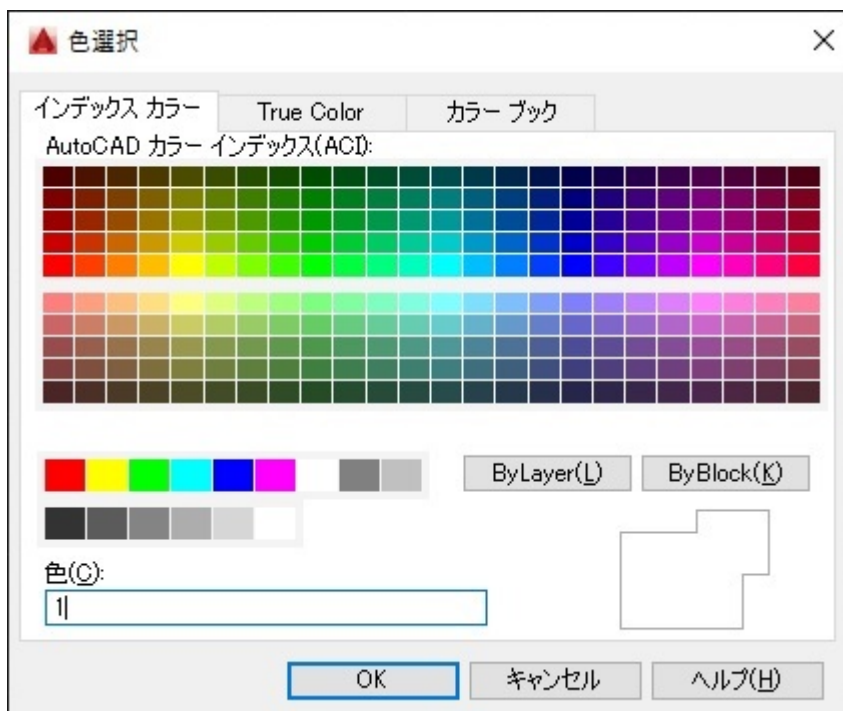
「色（数値入力）」のエディットボックスに数値（1～255）を入力して色を決定します。

このときボックスに入力をせずに空欄のままにしておくと、現在の状態が維持されます。

現在の状態を変えたくない場合は、操作をパスするか空欄にして次に進みます。

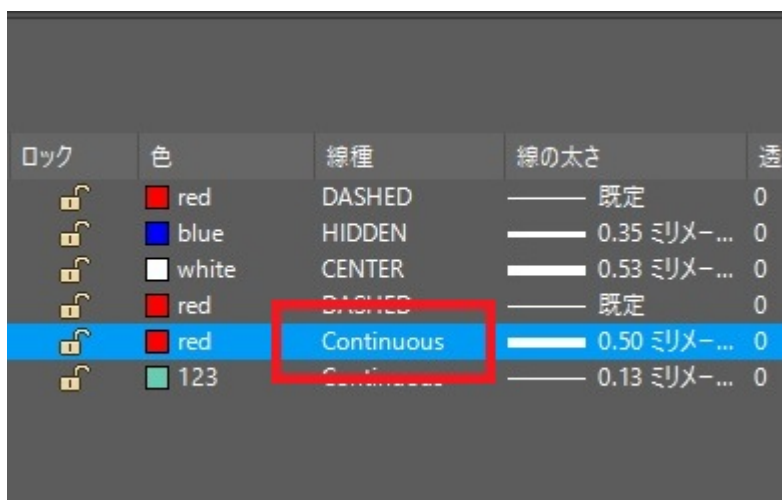


入力する色の数値は、AutoCAD のインデックスカラーの数値 1 ～ 255 になります。



## 線種の選択

編集するのレイヤの線種を決定します。

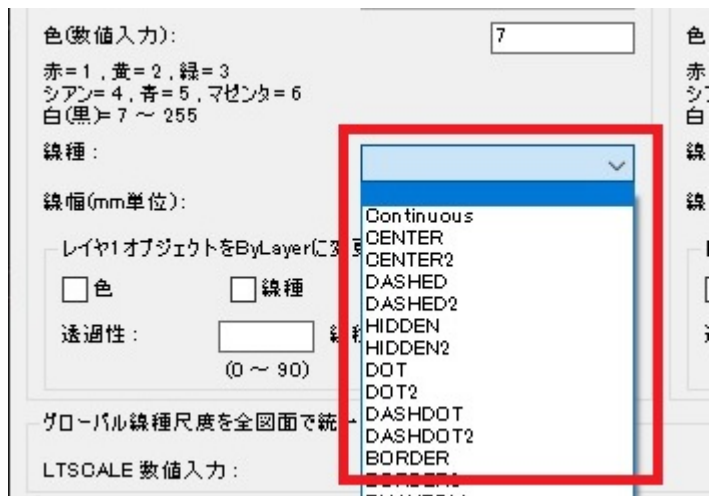


「線種」のプルダウンを操作して線種を選択します。

このときプルダウンを操作せずに空欄のままにしておくと、現在の状態が維持されます。

現在の状態を変えたくない場合は、操作をパスするか空欄にして次に進みます。

※ 本アプリでは、線種ロードを AutoCAD 標準の ISO の線種ファイルからロードしています。お使いの AutoCAD ファイルがメートル単位の図面もしくは ISO 基準の線種ファイルが無い場合は、正常に動作しない可能性があります。



## 線の太さ

編集するレイヤの線の太さを決定します。

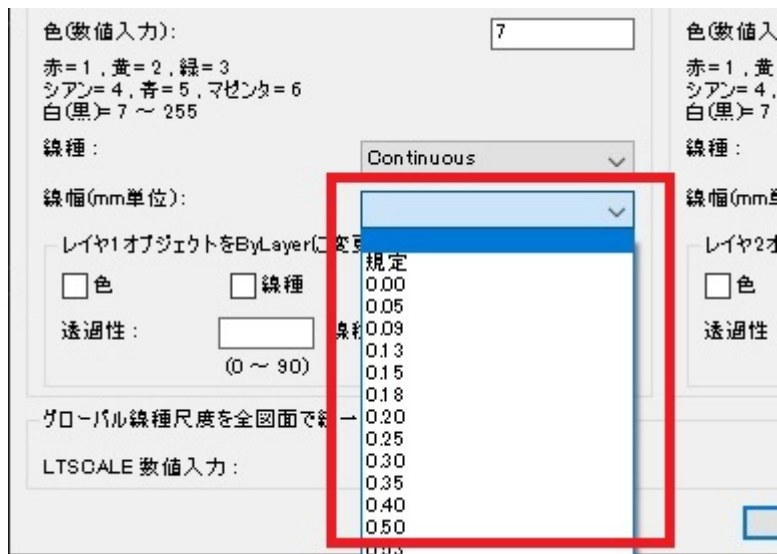
色	線種	線の太さ	透過性
red	DASHED	既定	0
blue	HIDDEN	0.35 ミリメ...	0
white	CENTER	0.53 ミリメ...	0
red	DASHED	既定	0
red	Continuous	0.50 ミリメ...	0
123	Continuous	0.13 ミリメ...	0

「線幅 (mm 単位)」のプルダウンを操作して線の太さを選択します。

このときプルダウンを操作せずに空欄のままにしておくと、現在の状態が維持されます。

現在の状態を変えたくない場合は、操作をパスするか空欄にして次に進みます。

※「規定」を選択した場合、お使いの AutoCAD ファイルの規定値に設定されます。



## 画層に属するオブジェクトを ByLayer にする

ここまでの操作で画層テーブルの情報を編集することが可能になりました。

さらに、編集した画層に属するオブジェクトのプロパティを「ByLayer」にすることで、

図面内およびフォルダ内の図面間の表示を統一させることができます。



ポリライン

一般

色	Red
画層	0
線種	DASHDOT2
線種尺度	1.0000
印刷スタイル	ByLayer
線の太さ	1.20 mm
透過性	ByLayer
ハイパーリンク	
厚さ	0.0000

から

ポリライン

一般

色	ByLayer
画層	0
線種	ByLayer
線種尺度	1.0000
印刷スタイル	ByLayer
線の太さ	ByLayer
透過性	ByLayer
ハイパーリンク	
厚さ	0.0000

に編集する。

「レイヤ\*オブジェクトを ByLayer に変更」を操作します。

線種: Continuous

線幅(mm単位): 規定

レイヤ1オブジェクトをByLayerに変更

☒ 色 ☐ 線種 ☐ 線幅

透過性: 50 (0 ~ 90) 線種尺度: 1.0

LTSCALE 数値入力:

「色」「線種」「線幅」に任意でチェックを入れることで、ByLayer にしたい項目を選択することができます。

さらに、オブジェクトの透過性と線種尺度のエディットボックスに数値を入力して決定します。

このときチェックボックスとエディットボックスを操作せずに空欄のままにしておくと、現在の状態が維持されます。

現在の状態を変えたくない場合は、操作をパスするか空欄にして次に進みます。

### LTSCALE（グローバル線種尺度）の統一

編集するフォルダ内にある、全ての図面の LTSCALE（グローバル線種尺度）を統一します。

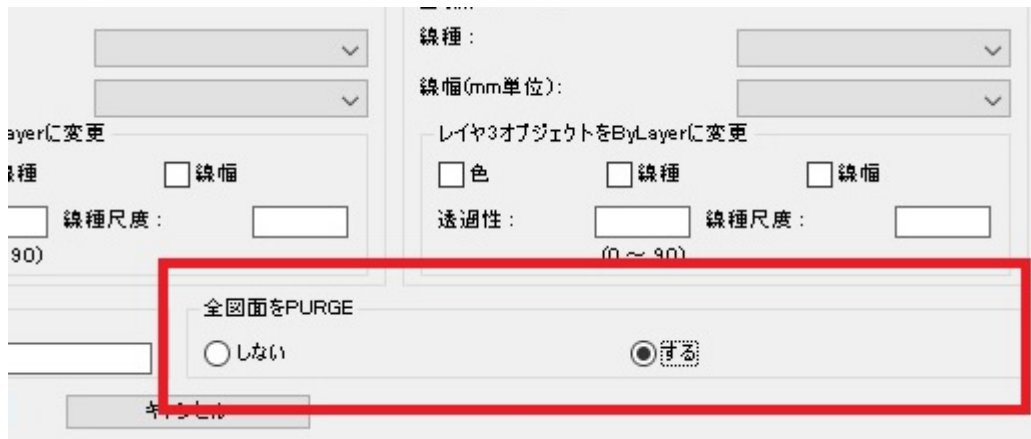


「グローバル線種尺度を全図面で統一」エディットボックスに数値を入力することで、フォルダ内の全図面の LTSCALE（グローバル線種尺度）を統一することができます。

### 全図面を PURGE

編集するフォルダ内にある、全ての図面に PURGE（全ページ）処理をかけます。

「全図面を PURGE」のラジオボタンの「する」にチェックを入れることで、フォルダ内の全図面に PURGE（全パーズ）処理をかけます。



完了

編集したい情報を入力したあと、「OK」ボタンをクリックすると処理が実行されます。

処理が完了すると下記のメッセージが表示されます。

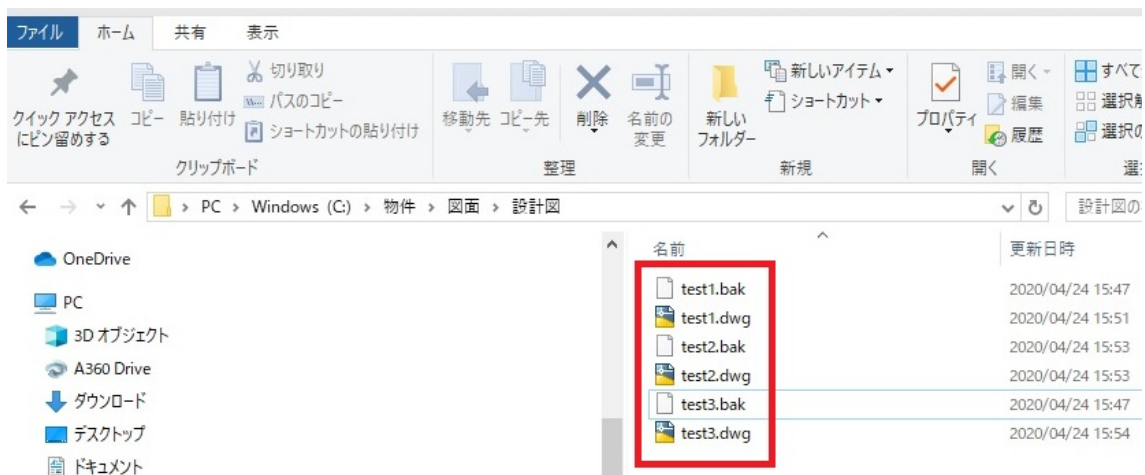
「OK」ボタンをクリックして処理を完了させます。



## 4. アプリケーションの操作例

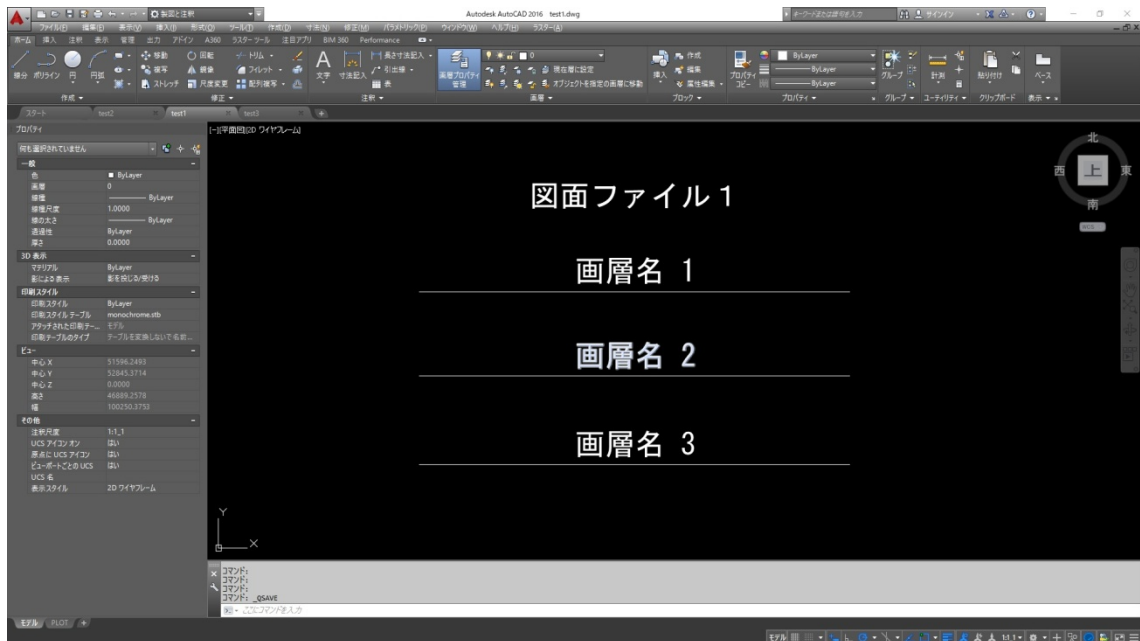
フォルダ内の AutoCAD 図面ファイルすべてを一括編集する。

C:\物件\図面\設計図 のフォルダ内にあるすべての図面ファイルを一括編集します。



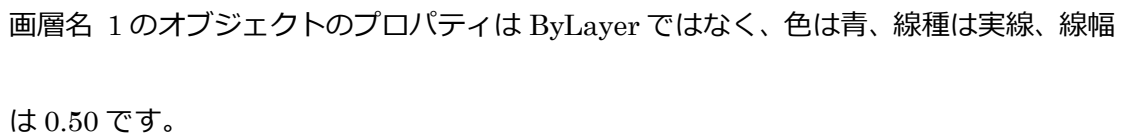
フォルダ内にある編集前の test1 ～ test3 ファイル

test1.dwg



図面ファイル 1(test1.dwg)では画層名 1, 2, 3 とともに白色の実線になっています。

test2.dwg



test3.dwg



## 画層名 1

レイヤ1

画層名 : 1

表示 ON/OFF :

フリーズ ON/OFF :

ロック ON/解除 :

印刷 可/不可 :

色(数値入力): 1

赤=1, 黄=2, 緑=3  
シアン=4, 青=5, マゼンタ=6  
白(黒)=7 ~ 255

線種 : Continuous

線幅(mm単位): 規定

レイヤ1オブジェクトをByLayerに変更

☐ 色      ☐ 線種      ☐ 線幅

透過性 :  線種尺度 :

(0 ~ 90)

画層名 1 では色を 1（赤）に、線種を実線、線幅を規定値にします。

画層に属するオブジェクトのプロパティは変更せず、画層テーブルのみ変更します。

## 画層名 2

レイヤ2

画層名:

表示 ON/OFF:

フリーズ ON/OFF:

ロック ON/解除:

印刷 可/不可:

色(数値入力):

赤=1, 黄=2, 緑=3  
シアン=4, 青=5, マゼンダ=6  
白(黒)=7 ~ 255

線種:

線幅(mm単位):

レイヤ2オブジェクトをByLayerに変更

☒ 色      ☒ 線種      ☒ 線幅

透過性:  線種尺度:

(0 ~ 90)

画層名 2 ではフリーズを OFF (表示) に、色を 2 (黄色) に、線種を BORDER2 に、線幅を 0.50 にします。

画層に属するオブジェクトのプロパティをすべて ByLayer に変更します。

画層名 3



レイヤ3

画層名: 3

表示 ON/OFF: ON

フリーズ ON/OFF:

ロック ON/解除:

印刷 可/不可:

色(数値入力): 3  
 赤=1, 黄=2, 緑=3  
 シアン=4, 青=5, マゼンタ=6  
 白(黒)=7 ~ 255

線種: PHANTOM2

線幅(mm単位): 2.00

レイヤ3オブジェクトをByLayerに変更

☒ 色 ☒ 線種 ☒ 線幅

透過性: 50 (0 ~ 90) 線種尺度:

画層名 3 では表示を ON に、色を 3（緑）に、線種を PHANTOM2 に、線幅を 2.00 にします。

画層に属するオブジェクトのプロパティをすべて ByLayer に変更して、さらにオブジェクトの透過性を 50 に変更します。

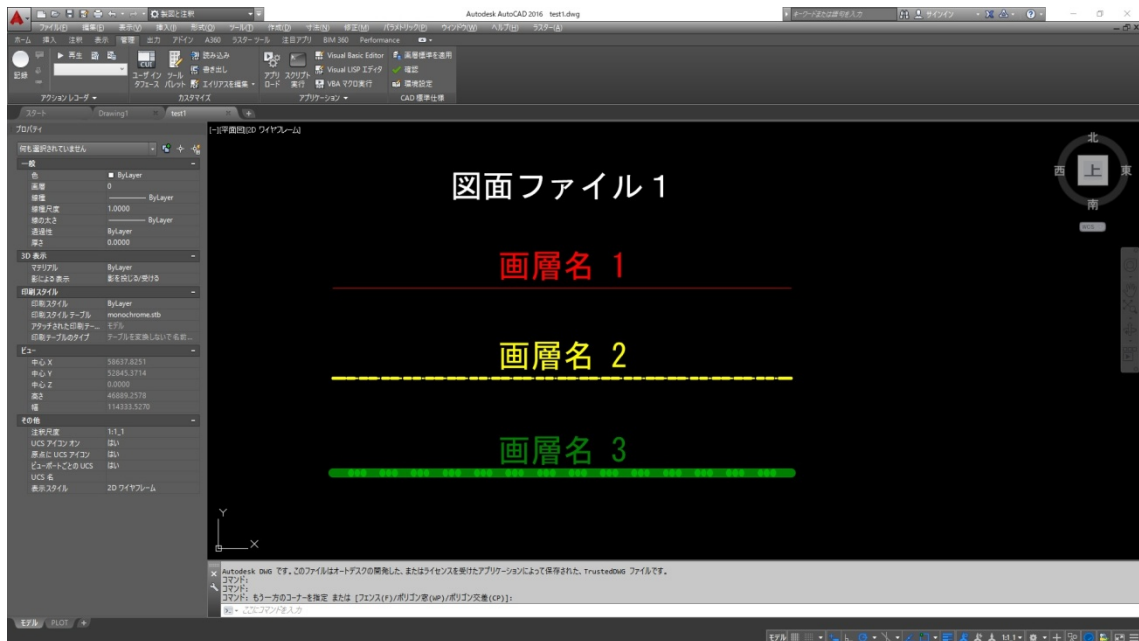
「OK」 ボタンをクリックして処理を実行押します。



実行後、編集したファイルを開いて内容を確認します。

編集後の test1 ～ test3 ファイル

test1.dwg



図面ファイル 1(test1.dwg)では元々、すべてのオブジェクトが ByLayer になっています。

よって、

画層名 1 では色は 1（赤）、線種は Continuous、線幅は規定値（0.25）の表示になります。

画層名 2 では色は 2（黄色）、線種は BORDER2、線幅は 0.50 の表示になります。

画層名 3 では色は 3（緑）、線種は PHANTOM2、線幅は 2.00 の表示になります。

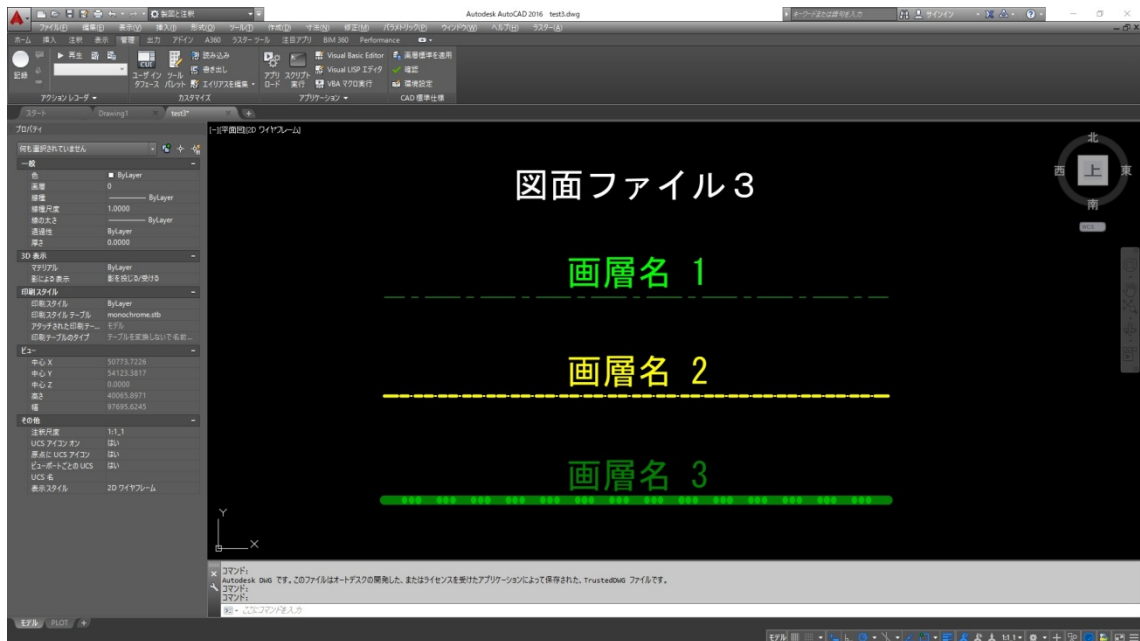
test2.dwg



図面 2 では、画層名 1 のオブジェクトのプロパティは ByLayer ではなく、色は青、線種は実線、線幅は 0.50 なので、画層テーブルのみの変更になり、オブジェクトの表記には変更はありません。

表示 OFF になっていた画層名 3 を編集で表示 ON に変更したため、画層名 3 のオブジェクトが表示されるようになりました。

test3.dwg



同様に、図面 3 でも画層名 1 のオブジェクトのプロパティは ByLayer ではないので、画

層テーブルのみの変更になり、オブジェクトの表記には変更はありません。

フリーズ ON（非表示）になっていた画層名 2 を編集で表示フリーズ OFF（表示）に変

更したため、画層名 2 のオブジェクトが表示されるようになりました。

## 5. 作者について

武内亮介（たけうちりょうすけ）

E-mail

fortune192@gmail.com

ご意見・ご感想をお聞かせください。